

《記入例》

様式第1号（第5条関係）

令和7年6月1日

全国都市緑化フェア in 京都丹波にぎわい事業交付金交付申請書

全国都市緑化フェア in 京都丹波実行委員会 会長 様

申請者【太枠内に記入／関係書類を添付】

所在地 又は住所	〒 621 - 8501 亀岡市安町野々神 8 番地
団体名	京都丹波みどりの里振興会
代表者名	会長 京都 太郎
電話番号	090-0000-0000 【連絡がつきやすい電話番号】
メー ル	kyoto260918@kyototamba.jp

書類送付先【代表者と異なる場合のみ記入】

所在地 又は住所	〒 622 - 8651 南丹市園部町小桜町 47 番地
担当者名	事務局長 丹波 次郎
電話番号	080-1111-1111 【連絡がつきやすい電話番号】
メー ル	tamba261108@kyototamba.jp

下記のとおり事業を実施したいので、交付金 161,120 円の交付を申請します。

イベント の 名 称	1	田舎暮らし体験ツアー 稲刈り編
	2	田舎暮らし体験ツアー しめ縄づくり編
	3	
添付書類	☐ 事業計画書（別紙1／各イベントにつき1葉作成） ☐ 収支予算書（別紙2／全イベントを集約して作成） ☐ 団体会則・規約等（区・自治会等の地縁自治組織は省略可） ☐ 構成員名簿（構成員の半数以上が京都丹波地域内に居住・通勤・通学していることがわかるもの／区・自治会等の地縁自治組織は省略可）	

【↑添付してください↑】

《記入例》

別紙1 【1 イベントにつき1葉作成してください】

事業計画書

イベントの名称	田舎暮らし体験ツアー 稲刈り編	
イベントの内容 (予定)	事業目的と計画概要・プログラム	
	現地での体験や地域住民との交流を通じて、当地域への移住につなげるため、季節に応じた体験ツアーを開催する。 午前中に稲刈り・稲木干し体験、午後からは移住希望者向けのメニューを実施する。	
	◎稲刈り・稲木干し体験	9:30～12:30
	◎地域住民とのランチ会・先輩移住者の体験談	12:30～13:30
	◎地域案内(名所・生活関連施設・空き家など)	13:30～16:30
	開催日時	9月21日(日)9:30～16:30
	開催場所	京都丹波みどりの里振興会館とその周辺
イベントの仕組 (予定)	参加費	2,000円/人(小学生以下半額)
	募集者数	20人
	地域内外に対するイベント・フェア情報の発信方法	
	近隣道の駅や飲食店へのチラシ配布、当会HP/SNSでの情報発信のほか、フェアHPにチラシデータを提供して掲載を依頼する。 チラシ・当会HPには、フェアHPへの誘導コードを表示する。	
	参加した来訪者と地域住民の交流方法	
	地域住民を講師とした稲刈り・稲木干し体験や地域内の先輩移住者を講師とした移住時の体験談のほか、ランチ会で参加者・講師・運営スタッフが懇談する場を設ける。	
	参加した来訪者に対する継続的な地域情報の発信方法	
イベントの準備 (予定)	当日実施する参加者アンケートで当会公式アカウントへの登録を呼びかけ、登録者に当会のイベントやニュースなどの情報を継続的に発信する。	
	実施時期	実施内容
	7月上旬	企画会議
	7月下旬	チラシ配布・HP等で情報発信
	9月20日	ツアー前日準備
	9月21日	ツアー開催

《記入例》

別紙2 【全イベントを集約して作成してください】

収支予算書

費目		予算額(円)	説明	
収入	フェア交付金	161,120	対象経費の 8 割(200,000 円)以内	
	参加費	70,000	(2,000 円×15 人+1,000 円×5 人)×2 回	
	昼食代	60,000	参加者昼食代 1,500 円×20 人×2 回	
	繰入金		事業主体の自己資金から繰入	
合計(A)		291,120	=支出合計(B)	
費目		予算額(円)	説明	
支出	対象	謝金	16,000 先輩移住者講師 2,000 円×4 時間×2 回	
			16,000 各種体験講師 2,000 円×4 時間×2 回	
	旅費	7,400	チラシ配布私用車燃料代 37 円×100 km×2 回	
	諸費	50,000	体験資材(手袋・カマ・藁・針金ほか)50,000 円	
		9,000	イベント飲料代 150 円×60 人	
		6,000	講師昼食代 1,500 円×2 人×2 回	
		20,000	チラシ印刷費(3,000 枚)10,000 円×2 回	
		4,000	チラシ配布郵便料金 2,000 円×2 回	
		4,000	振込手数料 500 円×4 件×2 回	
		9,000	イベント保険料 150 円×30 人×2 回	
	備品購入費			
	委託費	60,000	チラシデザイン費 30,000 円×2 回	
	小計	201,400	この金額×8 割(200,000 円)以内が交付金	
	対象外	諸費	60,000	参加者昼食代 1,500 円×20 人×2 回
		諸費	24,000	スタッフ昼食代 1,500 円×8 人×2 回
		繰出金	5,720	自己資金として積立(他の地域活動に活用)
		小計	89,720	
合計(B)		291,120	=収入合計(A)	

《記入例》

【任意様式】団体会則・規約の例

京都丹波みどりの里振興会 会則

(名称)

第1条 本会は、京都丹波みどりの里振興会と称す。

(事務所)

第2条 本会の事務所を、亀岡市安町野々神8番地に置く。

(目的および事業)

第3条 本会は、京都丹波の農村・里山風景、文化・芸術、食といった地域資源を活用したまちづくりの推進を目的として、その目的を達成するための事業を行う。

(構成)

第4条 本会は、上記の目的に賛同する個人会員又は団体会員で構成する。

(役員)

第5条 本会運営のために次の役員を置く。

- (1) 会長 1名
- (2) 副会長 1名
- (3) 事務局長 1名

2 各役員の職務は次のとおりとする。

- (1) 会長は、本会を代表して会を総括し、その業務を総理する。
- (2) 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるとき又は会長がかけたときこれを代行する。
- (3) 事務局長は、本会の庶務会計を掌握し、庶務会計職務を担当する。

3 役員の任期は2年とし、再任を妨げない。

(会議)

第6条 本会の会議は、年1回の会員総会と、前条の役員による役員会とする。

2 会員総会は、会員の過半数の出席で成立する。

3 本会の会議は、会長または他の役員が必要としたときに召集する。

4 会議を招集するときは、会議の日時、場所を記載した書面または電磁的方法により、開催日の5日前までに通知しなければならない。

(会計)

第7条 本会の会計年度は、毎年4月1日から翌年3月31日までとする。

2 決算上剰余金が生じたときは、次年度に繰り越すものとする。

3 本会が解散したときに残存する財産は、会議で議決した他の非営利団体へ寄附するものとする。

(変更)

第8条 この会則は、会員総会において、出席者の3分の2以上の承認があれば変更できる。

付則 この会則は、令和7年4月1日から施行する。

《記入例》

【任意様式】構成員名簿の例

京都丹波みどりの里振興会 構成員名簿

令和7年4月1日現在

	役職名	氏名	京都丹波地域内			備考
			在住	在勤	通学	
1	会長	京都 太郎	○			
2	副会長	緑川 花子	○			
3	事務局長	丹波 次郎	○			
4	会員	亀岡 光秀		○		
5	会員	霧 雲海			○	
6	会員	湯花 泉	○			
7	会員	戸呂 航太	○			
8	会員	保津 京子	○			
9	会員	桔梗 聡子				京都市
10	会員	南丹 さくら				京都市
11	会員	園部 るり子	○			
12	会員	八木 史郎	○			
13	会員	泉 ひよし		○		
14	会員	美山 あゆ美			○	
15	会員	京丹波 栗子		○		
16	会員	丹波 光源	○			
17	会員	瑞穂 さらびき	○			
18	会員	和知 なごみ	○			
19	会員	味夢 絋二			○	
20	会員	琴 たき				京都市
計		20 名	11 名	3 名	3 名	

《記入例》

【任意様式】 取り下げ申出書の例

令和7年6月20日

全国都市緑化フェアin京都丹波にぎわい事業交付金取り下げ届

全国都市緑化フェア in 京都丹波実行委員会 会長 様

申請者

所在地	〒 621 - 8501
又は住所	亀岡市安町野々神 8 番地
団体名	京都丹波みどりの里振興会
代表者名	会長 京都 太郎
電話番号	090-0000-0000
メー ル	kyoto260918@kyototamba.jp

令和7年6月1日付けで申請した事業について、下記の理由により中止したいので、届け出ます。

取り下げ の理由	令和7年6月15日の豪雨により、稲刈り編の会場予定地周辺が大規模な被害を受け、稲刈り編の会場としめ縄編の材料にする藁が確保できなくなったため、やむを得ず申請を取り下げる。
-------------	---

《記入例》

様式第3号（第7条第1項関係）

令和7年8月1日

全国都市緑化フェアin京都丹波にぎわい事業交付金変更承認申請書

全国都市緑化フェア in 京都丹波実行委員会 会長 様

申請者【太枠内に記入／関係書類を添付】

所在地 又は住所	〒 621 - 8501 亀岡市安町野々神8番地
団体名	京都丹波みどりの里振興会
代表者名	会長 京都 太郎
電話番号	090-0000-0000 【連絡がつきやすい電話番号】
メー ル	kyoto260918@kyototamba.jp

令和7年7月25日付け京丹フ第111号で交付金交付決定のあった事業の内容を下記のとおり変更したいので申請します。

変更内容 及び理由		講師の日程が確保できず、稲刈り編・しめ縄づくり編のうち稲刈り編を中止したことによる減額
変更後	交付金額	76,560円
	添付書類	☐ 事業計画書（別紙1／各イベントにつき1葉作成） ☐ 収支予算書（別紙2／全イベントを集約して作成）

※事業計画書・収支予算書は、変更前後が比較できるように作成してください。

【↑添付してください↑】

《記入例》

別紙1 【1 イベントにつき1葉作成してください】

事業計画書

イベントの名称	田舎暮らし体験ツアー 稲刈り編 (中止)	
イベントの内容 (予定)	事業目的と計画概要・プログラム	
	現地での体験や地域住民との交流を通じて、当地域への移住につなげるため、季節に応じた体験ツアーを開催する。 午前中に稲刈り・稲木干し体験、午後からは移住希望者向けのメニューを実施する。	
	◎稲刈り・稲木干し体験	9:30～12:30
	◎地域住民とのランチ会・先輩移住者の体験談	12:30～13:30
	◎地域案内(名所・生活関連施設・空き家など)	13:30～16:30
	開催日時	9月21日(日)9:30～16:30
	開催場所	京都丹波みどりの里振興会館とその周辺
イベントの仕組 (予定)	参加費	2,000円/人(小学生以下半額)
	募集者数	20人
	地域内外に対するイベント・フェア情報の発信方法	
	近隣道の駅や飲食店へのチラシ配布、当会HP/SNSでの情報発信のほか、フェアHPにチラシデータを提供して掲載を依頼する。 チラシ・当会HPには、フェアHPへの誘導コードを表示する。	
	参加した来訪者と地域住民の交流方法	
	地域住民を講師とした稲刈り・稲木干し体験や地域内の先輩移住者を講師とした移住時の体験談のほか、ランチ会で参加者・講師・運営スタッフが懇談する場を設ける。	
	参加した来訪者に対する継続的な地域情報の発信方法	
イベントの準備 (予定)	当日実施する参加者アンケートで当会公式アカウントへの登録を呼びかけ、登録者に当会のイベントやニュースなどの情報を継続的に発信する。	
	実施時期	実施内容
	7月上旬	企画会議
	7月下旬	チラシ配布・HP等で情報発信
	9月20日	ツアー前日準備
	9月21日	ツアー開催

《記入例》

別紙2 【全イベントを集約して作成してください】

収支予算書

費目		予算額(円)	説明
収入	フェア交付金	<u>76,560</u>	対象経費の8割(200,000円)以内
	参加費	<u>35,000</u>	(2,000円×15人+1,000円×5人)× <u>1回</u>
	昼食代	<u>30,000</u>	参加者昼食代1,500円×20人× <u>1回</u>
	繰入金		事業主体の自己資金から繰入
	合計(A)	<u>141,560</u>	=支出合計(B)
費目		予算額(円)	説明
支出	対象	<u>8,000</u>	先輩移住者講師2,000円×4時間× <u>1回</u>
		<u>8,000</u>	各種体験講師2,000円×4時間× <u>1回</u>
	旅費	<u>3,700</u>	チラシ配布私用車燃料代37円×100km× <u>1回</u>
	諸費	<u>20,000</u>	体験資材(手袋・ カマ ・藁・針金ほか) <u>20,000円</u>
		<u>4,500</u>	イベント飲料代150円×30人
		<u>3,000</u>	講師昼食代1,500円×2人× <u>1回</u>
		<u>10,000</u>	チラシ印刷費(3,000枚)10,000円× <u>1回</u>
		<u>2,000</u>	チラシ配布郵便料金2,000円× <u>1回</u>
		<u>2,000</u>	振込手数料500円×4件× <u>1回</u>
		<u>4,500</u>	イベント保険料150円×30人× <u>1回</u>
	備品購入費		
	委託費	<u>30,000</u>	チラシデザイン費30,000円× <u>1回</u>
	小計	<u>95,700</u>	この金額×8割(200,000円)以内が交付金
	対象外	<u>30,000</u>	参加者昼食代1,500円×20人× <u>1回</u>
		<u>12,000</u>	スタッフ昼食代1,500円×8人× <u>1回</u>
		<u>3,860</u>	自己資金として積立(他の地域活動に活用)
		<u>45,860</u>	
	合計(B)	<u>141,560</u>	=収入合計(A)

《記入例》

様式第5号（第8条関係）

令和7年6月10日

全国都市緑化フェア in 京都丹波にぎわい事業交付金指令前着手届

全国都市緑化フェア in 京都丹波実行委員会 会長 様

申請者【太枠内に記入】

所在地 又は住所	〒 621 - 8501 亀岡市安町野々神8番地
団体名	京都丹波みどりの里振興会
代表者名	会長 京都 太郎
電話番号	090-0000-0000 【連絡がつきやすい電話番号】
メール	kyoto260918@kyototamba.jp

令和7年6月1日付けで申請した事業について、交付金交付決定前に着手したいので、別記条件を了承の上、届け出ます。

指令前着手が 必要な理由	参加者の確保に向けて、チラシを早期に作成・配布する必要があるため
事業の着手日	令和7年6月20日（予定） ※事前準備を含む事業開始日

（別記条件）

1. 交付決定を受けるまでの間、事業の趣旨に従い、実施すること。
2. 交付決定を受けるまでの間に実施した事業により損失が生じた場合、その損失は申請者が負担すること。
3. 不交付となった場合又は交付決定額が交付申請額に達しない場合においても、異議がないこと。
4. 着手から交付決定までの間に事業内容を変更しないこと。

《記入例》

様式第6号（第9条関係）

令和7年12月15日

全国都市緑化フェアin京都丹波にぎわい事業交付金実績報告書

全国都市緑化フェア in 京都丹波実行委員会 会長 様

申請者【太枠内に記入】

所在地 又は住所	〒 621 - 8501 亀岡市安町野々神8番地
団体名	京都丹波みどりの里振興会
代表者名	会長 京都 太郎
電話番号	090-0000-0000 【連絡が付きやすい電話番号】
メール	kyoto260918@kyototamba.jp

令和7年7月25日付け京丹フ第111号で交付金交付決定のあった事業を完了したので、下記のとおり報告します。

イベント の 名 称	1	田舎暮らし体験ツアー 稲刈り編
	2	田舎暮らし体験ツアー しめ縄づくり編
	3	
添付書類	☐ 事業報告書（別紙1／各イベントにつき1葉作成） ☐ 収支決算書（別紙2／全イベントを集約して作成） ☐ 事業費の明細がわかる支出証拠書類（請求内訳書・領収書等）の写し ☐ 事業の実施状況がわかる資料（チラシ・記録写真等）	

【↑添付してください↑】

《記入例》

別紙1 【1 イベントにつき1葉作成してください】

事業報告書

イベントの名称	田舎暮らし体験ツアー 稲刈り編	
イベントの内容 (実施状況)	実施概要と事業効果（又はその見込み）	
	午前中に稲刈り・稲木干し体験、午後からは地域住民とのランチ会・先輩移住者の体験談、地域案内(名所・生活関連施設・空き家など)を行った。	
	当地域への移住希望者が3組と、当会公式アカウントに15人の登録があり、当地域への移住につながる足掛かりができた。	
	事業の反省・課題とその解決策	
	企画の着手時期が遅れ、告知期間を十分確保できなかった。 今後は開催日の2か月前に告知できるよう、企画準備を進める。	
	開催日時	9月21日(日)9:30～16:30
	開催場所	京都丹波みどりの里振興会館とその周辺
	参加費	2,000円/人(小学生以下半額)
	参加者数	20人(うち小学生以下5人)
イベントの仕組 (実施状況)	地域内外に対するイベント・フェア情報の発信方法	
	近隣道の駅や飲食店へのチラシ配布、当会HP/SNSでの情報発信のほか、フェアHPにチラシデータを提供して掲載した。	
	チラシ・当会HPには、フェアHPへの誘導コードを表示した。	
	参加した来訪者と地域住民の交流方法	
	地域住民を講師とした稲刈り・稲木干し体験や地域内の先輩移住者を講師とした移住時の体験談のほか、ランチ会で参加者・講師・運営スタッフが懇談する場を設けた。	
	参加した来訪者に対する継続的な地域情報の発信方法	
イベントの準備 (実施状況)	当日実施する参加者アンケートで当会公式アカウントへの登録を呼びかけ、参加者20人中15人の登録があった。	
	今後、登録者には当会のイベント情報などを継続的に発信する。	
	実施時期	実施内容
	8月10日	企画会議
	8月20日	チラシ配布・HP等で情報発信
	9月20日	ツアー前日準備
	9月21日	ツアー開催

《記入例》

別紙2 【全イベントを集約して作成してください】

収支決算書

費目		決算額(円)	説明
収入	フェア交付金	161,120	対象経費の8割(200,000円)以内
	参加費	70,000	2,000円×30人+1,000円×10人
	昼食代	60,000	参加者昼食代1,500円×20人×2回
	繰入金		事業主体の自己資金から繰入
	合計(A)	291,120	=支出合計(B)
費目		決算額(円)	説明
支出	対象	謝金	16,000 先輩移住者講師 2,000円×4時間×2回
			16,000 各種体験講師 2,000円×4時間×2回
	旅費	7,400	チラシ配布私用車燃料代 37円×100km×2回
	諸費	50,000	体験資材(手袋・カマ・藁・針金ほか)50,000円
		9,000	イベント飲料代 150円×60人
		6,000	講師昼食代 1,500円×2人×2回
		20,000	チラシ印刷費(3,000枚)10,000円×2回
		4,000	チラシ配布郵便料金 2,000円×2回
		4,000	振込手数料 500円×4件×2回
		9,000	イベント保険料 150円×30人×2回
	備品購入費		
	委託費	60,000	チラシデザイン費 30,000円×2回
	小計	201,400	この金額×8割(200,000円)以内が交付金
	対象外	諸費	60,000 参加者昼食代 1,500円×20人×2回
		諸費	24,000 スタッフ昼食代 1,500円×8人×2回
		繰出金	5,720 自己資金として積立(他の地域活動に活用)
		小計	89,720
	合計(B)	291,120	=収入合計(A)

《記入例》

別紙2 附表 【全イベントを集約して1 受領者につき1 葉作成してください】

旅費領収書

事業主体	京都丹波みどりの里振興会						
受領者	受領日	R7.9.15	氏名	緑川 花子			

(内訳)

旅行日	用務内容	用務先	交通手段	出発地	到着地	交通費計算	交通費
R7.8.20	稲刈り編 チラシ配布	道の駅●	自家用車	京丹波町 本庄ウエ16	道の駅●	37円×25.0km	925
		道の駅■	自家用車	道の駅●	道の駅■	37円×20.0km	740
		道の駅▲	自家用車	道の駅■	道の駅▲	37円×15.0km	555
		自宅	自家用車	道の駅▲	京丹波町 本庄ウエ16	37円×40.0km	1,480
R7.9.10	しめ縄づくり編 チラシ配布	道の駅●	自家用車	京丹波町 本庄ウエ16	道の駅●	37円×25.0km	925
		道の駅■	自家用車	道の駅●	道の駅■	37円×20.0km	740
		道の駅▲	自家用車	道の駅■	道の駅▲	37円×15.0km	555
		自宅	自家用車	道の駅▲	京丹波町 本庄ウエ16	37円×40.0km	1,480
【公共交通機関の場合】							
R7.8.20	稲刈り編 チラシ配布	亀岡駅	自家用車	京丹波町 本庄ウエ16	和知駅	37円×1.0km	37
			電車	和知駅	亀岡駅	680円×1回	680
		自宅	電車	亀岡駅	和知駅	680円×1回	680
			自家用車	和知駅	京丹波町 本庄ウエ16	37円×1.0km	37
受領額合計							7,400

※私用車燃料代を算出する際の距離数は、100m 未満を切り捨ててください。

《記入例》

様式第8号（第11条関係）

令和7年12月25日

全国都市緑化フェア in 京都丹波にぎわい事業交付金請求書

全国都市緑化フェア in 京都丹波実行委員会 会長 様

申請者【太枠内に記入／該当する「□」にチェック（☑）】

所在地 又は住所	〒 621 - 8501 亀岡市安町野々神8番地
団体名	京都丹波みどりの里振興会
代表者名	会長 京都 太郎 (印)
電話番号	090-0000-0000 【連絡がつきやすい電話番号】
メー ル	kyoto260918@kyototamba.jp
請求種別	☐ 概算払(事業完了前) ☒ 精算払(事業完了後)

下記のとおり交付金を請求します。

交付金額	¥161,200 円 【補助金交付決定額が上限】	
振込口座	金融機関名	京都丹波銀行
	支店名	亀岡支店
	口座種別	☒ 普通 ☐ 当座 ☐ 貯蓄
	口座番号	1234567
	フリガナ	キョウトタンバミドリノサトシンコウカイ
口座名義	京都丹波みどりの里振興会 【原則として申請団体名義】	

委任状【申請団体名と口座名義が異なる場合のみ太枠内に記入】

本交付金の受領に関する権限を下記の者に委任します。

受任者（口座名義人）

所在地 又は住所	〒 -
団体名	
代表者名	